



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	月刊DRF 第9号
Author(s)	デジタルリポジトリ連合; Digital Repository Federation
Description	事務局: 北海道大学附属図書館 http://drf.lib.hokudai.ac.jp/ で公開したもの
Issue Date	2010-10-29
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/73494
Type	journal
File Information	DRFmonthly_9.pdf





月刊 DRF

Digital Repository Federation Monthly

第9号

No. 9 October, 2010

【速報】第8回ベルリン宣言記念OA会議

【特集】オープンアクセスウィーク2010

その他の記事

川柳をつくろう「だ」で始まる川柳
全国ワークショップDRF7のご案内

速報 第8回ベルリン宣言記念オープンアクセス会議

10月25日から27日にかけて、中国科学院国家科学図書館(北京)で、ベルリン宣言のフォローアップのための年次国際会議“Berlin8”が開催されました。

26日に行われた機関リポジトリセッションにおいて、英国、ドイツ、中国からの発表にならび、DRF国際ワーキンググループの徳田聖子(筑波大学)が、「ひたひた: 政策の不在とリポジトリマネージャのリーダーシップ (Sliming in : the lack of policy, and the leadership of repository managers)」と題した報告を行いました。



冒頭で、DRFアドバイザー土屋俊教授(千葉大学)による「オープンアクセスへの早道は、いかなるレベルでの政策立案でもなく、リポジトリマネージャのコミュニティ形成である (The shortest road to open access is the development of a repository managers' community, not a policy of any kind.)」とのメッセージを伝え、助成団体や研究機関のOA方針等に依存しない、リポジトリマネージャの連帯的尽力に根差した我が国のグリーンロード推進の現況について報告しました。

Berlin8の全容については、<http://www.berlin8.org/> をご覧ください。

特集 オープンアクセスウィーク2010

Latest Activity: Oct 11
Grupo de discusión sobre acceso abierto y temas relacionados en Puerto Rico.

Program advisers
16 members
Latest Activity: Sep 6
The brains behind the operation

INASP Open Access Group
16 members
Latest Activity: Aug 9
A group to share Open Access activities organized by the INASP community and kindred organisations. We welcome contributions from any members interest...

Open Access Week in Japan
12 members
Latest Activity: Oct 20
for Open Access Week in Japan

Implementing the Durham Statement: Best Practices for Open Access Law Journals
5 members
Latest Activity: 16 hours ago
For those organizing and participating in workshop

Open Access South Africa
40 members
Latest Activity: 1 day ago

Open Access-Russia
3 members
Latest Activity: Oct 18

今年で4回目となったオープンアクセスウィーク(10/18-24)。“LEARN. SHARE. ADVANCE.”をテーマに、参加者が自ら発信できる場として公式コミュニティ・サイトが設置されました。世界中のイベントスケジュール、キャンペーン、ビデオ、写真などが集まり、様々な経験を共有しました。

SPARCによると、今年は94か国から900人近い参加があったとのこと。日本からも多くの企画がウィークに参加しました。



オープンアクセスウィーク参加国 (SPARC Official Open Access Week Kick-off Event Video より)



LEARN. SHARE. ADVANCE.

OCTOBER 18 - 24, 2010 | EVERYWHERE

国際 オープンアクセスウィーク 2010.10.18-24

openaccessweek.org

主なイベント

科学研究成果は共有され、
よりよい将来のために役立
てられなければならない。
(轟先生)



<http://openaccessweek.org/video>

「オープンアクセスとは
…と語るのにはもうやめ
て、行動をはじめよう。」
(土屋先生)



ビデオ・
メッセージ



Café: 知のオープンアクセス (10/20 大阪大学)

参加者の声: 「オープンアクセス、リポジトリを中心に多様な議
論・論点がでてきて面白かった」「初めてオープンアクセスを知っ
た」「オープンアクセスのためのシステムや戦略が知りたい」…

SPARC Japan セミナー (10/20 国立情報学研究所)

<http://www.nii.ac.jp/sparc/event/2010/20101020.html>

5周年記念HUSCAP講演会

(10/21 北海道大学)

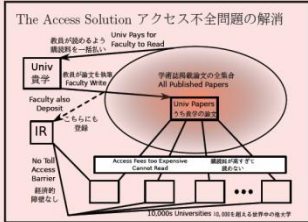
プログラム構成

前半: HUSCAPで積極的に著作を公開している教員3名からの応援
メッセージ「HUSCAPと私の研究」
後半: 明治大学アンドリュー・アダムス教授によるグリーンOA解説



「個々の局所的な努力によ
ってシステム全体が自己
組織的にデザインされ
る」(井上純一・北海道
大学情報科学研究科准
教授)

「学術研究活動上のキモは
どこにあるのか、問題の核
心は査読論文へのアクセ
スだ」(アンドリュー・ア
ダムス・明治大学特任教授)



小樽商科大学学術成果コレクション 開設3周年記念講演会

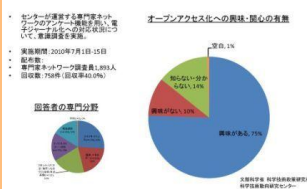
(10/20 小樽商科大学)

参加者の7割が教員でした!

「これからも、図書館としても
Barrelの充実につとめたい。
引き続き協力を」(和田健夫・
副学長・附属図書館長)



論文のオープンアクセス化には、
75%の科学者・技術者が興味がある。



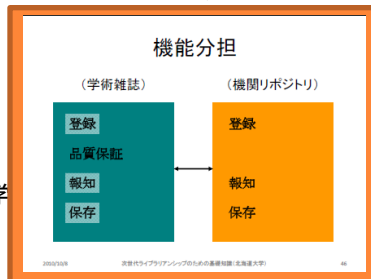
国際OAイベントの一環として初回から今年で3回目と
なるSPARC Japanのオープンアクセスセミナーでは、
オープンアクセス出版のこれまでを簡単におさらいし、
日本のOA化の特徴と課題を、応用哲学会の新刊
ジャーナル発刊までの事例も交えて議論しました。
また、今回初めての試みとして和文の学術情報流通の
オープンアクセス事例も取り上げました。

コメント及び当日発表スライド提供: 林和弘氏 (SPARC
Japan運営委員、日本化学会) 写真協力: SPARC Japan

国立大学図書館協会北海道地区協会セミナー 「次世代ライブラリアンシップのための基礎知識」第2回 (10/8 北海道大学遠友学舎)

「機関リポジトリと電子ジャーナルやってる人たち、分断してしまっ
てない?」(加藤憲二・静岡
大学附属図書館長)

「学術雑誌と機関リポジトリ
は補完的な関係」
「リポジトリ担当者は元気で
明るい」(尾城孝一・東京大学
附属図書館情報管理課長)



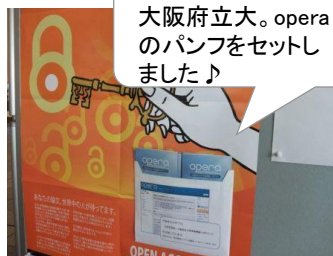
【△スタンド、ポスター、バッジ】



青森県立保健大 閲覧室



筑波大 スターバック
スの入口に。技あり△



大阪府立大。opera
のパンフをセットし
ました♪



東京歯科大 食堂の△

山形大 小白川図書館
学習サポートAA



東北大 工学分館



大阪大参考調査。奥に△も。



講演会
参加者に
(小樽商大)



九州大 Library Lovers
のポスターとともに。

【教員インタビュー】

【OAコーナー】



一聖学院大

→北海道大
北キャンパス図書室



広島大
インタビューマラソン♪



金沢大 連続インタビュー☆

インタビューコレクションほか、DRFのOAページ：
<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drif/index.php?OAWeek%202010>

他にもさまざまな取り組みがありました

- ・メールの署名文にオープンアクセスや機関リポジトリのPRを掲載
- ・オープンアクセスウィーク論文くださいキャンペーン
- ・オープンアクセスが3分でわかる紙芝居！
- ・Webにオープンアクセスウィーク特設ページ設置、バナー設置

などなど。載せきれなかった写真たちをぜひチェックしてください！

http://www.flickr.com/photos/drif_museum/

もちろん2011も！

オープンアクセスウィークの閉幕に際し、主宰者から次のメッセージが流れました。今年度の国内外各大学の取り組みをヒントに、来るオープンアクセスウィーク2011ではあなたの大学でも何かやってみませんか？

And, course, there's Open Access Week 2011 to look forward to! We'll look forward to seeing you at www.openaccessweek.org then.

Warm wishes,

Heather Joseph, Executive Director and Jennifer McLennan, Program Director for Open Access Week

On behalf of the 2010 Open Access Week Program Advisers

drif_museum Sets
OAW2010
Thumbnails Detail Comments



期間中のキャンペーンイベント写真を集めました！まだまだ募集中です。
58 photos (203 views)
Items are from between 18-Oct-2010 & 24-Oct-2010.



DRF オープンアクセスウィーク・チーム

DRF参加機関：永井一樹(兵庫教育大)、中山知士(筑波大)、南絵里子、長谷川奈々(小樽商科大)、城恭子(北海道大)、
DRF技術サポートWG：野中雄司(北海道大)ほか、DRF国際連携WG：土出郁子(大阪大)、DRF企画WG

題材は何でもいいからインタビュー -開錠

- ・リポジトリは教職協働。糸口はなんでもいい (結丸)
- ・これくらいの勢いでとにかく先生の懷に飛び込む勇気が時には必要ですよ (豆)

だめもとで「論文ください」言い慣れて -開錠

- ・だめもとで言うてはいるのですが、冷たく断られるとちょっと凹むのもまた事実。ええい、負けるものか! (有人)

だまされたと思って1本お願いします -潮香

- ・このセリフもらいやすい! いいですね。研究者の意識が変わっていくことを願って (壇)

だだだっど研究室に駆けつける -ゆのみ

- ・リポジトリ担当になって図書館から出ることのたらいがなくなりました。今はリポジトリ以外でも研究室に駆けつけるようにしています。そのフットワークが教員との信頼関係を築ききっかけになると思うので (壇)

だんだんと、慣れてきたぞよ、たたかいに -まえばん

- ・いちいちめげてる暇はない! (壇)

代替わり風向き替わり先祖返り -しょんぼり

- ・学内営業まきなおし。5年前と同じ話から始めても違う手ごたえを感じる今日この頃。 (結丸)

誰にする? DRFにまかせろ 研修会 -田原町

- ・研修にしてもワークショップにしても、フレッシュな講師が どんどん登場してきてますね! (潮香)

だーふって読むこと初めて知りました -ゆい

- ・だーふって読むんだよ、と事務方の人に説明するのも慣れました (返歌(嘘))。 (有人)

だましまし泣いても使うUPS -横着しすかん

- ・めったに停電しないのに一番最初に壊れるのは何故? (結丸)

大学のマスコットよりあおばとちゃん -蓮



(お題以外の川柳も届きました)

おもふほど みちとおからず しるべあり -まえばん

- ・先人のしるべ、協力者のしるべ。全ての局面にヒントはある。 (結丸)

応募ありがとうございました!
次のお題は、
「あ」で始まる川柳
雅号、ご所属お名前を添えて
gekkanrdf@gmail.com まで。
お待ちしております

全国ワークショップ DRF7「これから我々がめざすものは何か」

ご案内

平成22年11月25日 (木) 10:30~17:00 パシフィコ横浜第4会場

<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?DRF7>

今年も図書館総合展でワークショップを行います。ぜひご参加ください!

第1セッション 10:30~12:00

「DRFからみなさんへ」

※DRF総会(今年度のDRF活動紹介、これからのDRFのありかたについての意見交換)のあと、海外出張報告、DRFtech 軽井沢の成果報告と、DRF参加機関の3機関から活動事例報告を行います。

進行: 山本和雄(北海道大学)、尾崎文代(広島大学)

第2セッション 13:00~14:30

講演「機関オープンアクセス方針とは何か: 英国レディング大学の場合」(逐次通訳あり)

講師: アンドリュー・A・アダムス(元・レディング大学、現・明治大学) 進行: 杉田茂樹(小樽商科大学)

第3セッション 15:00~16:00

「放っておけないIR: リポジトリ元担当者座談会」

※現在の業務からIR業務にどう関われるか談話します
パネリスト: 高橋菜奈子(NII), 斎藤未夏(筑波大学),
金藤伴成(東京大学), 棚橋是之(名古屋大学)
進行: 加藤晃一(浜松医科大学)

第4セッション 16:00~17:00

「教員との対話」

パネリスト: 春日匠(大阪大学CSCD),
諏訪さゆり(千葉大学大学院看護学研究科),
田中啓文(大阪大学大学院理学研究科化学専攻)
進行: 岩井雅史(信州大学)



次号
予告

【特集1】 SPARC Digital Repositories Meeting 2010

11/8-9 米国ボルチモアで開催される国際会議のようをお届けします

【特集2】全国ワークショップ地域ワークショップ技術ワークショップ主題ワークショップ

DRF7, DRF-CityOfHiroshima, DRFtech-Hamamatsu, DRFmed-Nara の内容を報告します

月刊DRFでは、みなさまからのお便りをお待ちしています。gekkanrdf@gmail.com